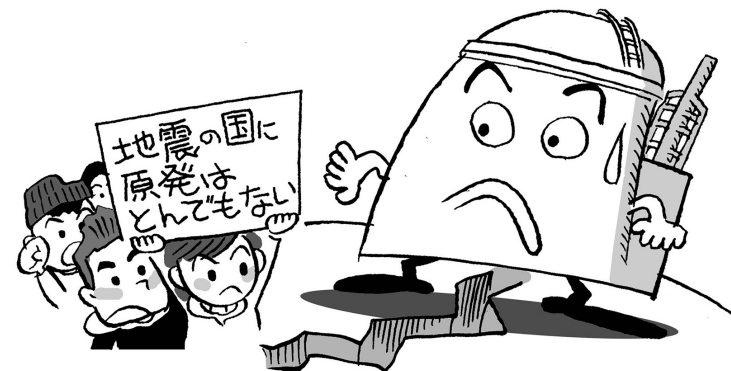


地震大国日本に 原発はいらない!

福島第一原発の「ALPS処理水」
海洋放出強行から一年



敦賀原発2号機が「再稼働不許可」に

8月2日、原子力規制委員会は福井県敦賀市の敦賀原発2号機について、「新規制基準」に「不適合」としました。福島第一原発の事故後にできた「新規制基準」では、活断層の上に安全上重要な施設を建てることを禁じています。2号機原子炉建屋の下に活断層がある可能性が否定できず、「新規制基準に適合していると認められない」と結論づけられました。「新規制基準」による初の原発再稼働「不許可」の判断です。

「南海トラフ地震注意」に対応しなかった電力会社

8月8日、宮崎県日向灘でマグニチュード7.1の地震が発生しました。気象庁は、「一週間は南海トラフ地震の想定震源域で大規模地震が発生する可能性が高まっている」として「南海トラフ地震臨時情報」を出し、注意を呼びかけました。

対象地域には4原発7基があり、川内原発は稼働中です。原子力規制庁は臨時情報による運転停止を想定しておらず、四国電力と九州電力は「南海トラフ地震を考慮した耐震設計をしている」「設定値以上の揺れで運転を停止する」などと説明し、特に対応はしませんでした。鉄道各社や自治体が必要な対応をとったのとは、おおちがいです。

東日本大震災で福島第一原発が重大事故を起こし、能登半島地震でも志賀原発と柏崎刈羽原発で想定外のトラブルが起きました。安全神話によりかかる電力会社は問題です。地震大国日本に、危険な原発はいりません。

誰が総裁に
なっても同じ!

自民党政治にさよならを!

自民党の総裁選挙が9月に実施されます。岸田首相は総裁選への「不出馬」を表明しています。記者会見では、統一教会との関係や裏金問題で「国民の不信を招いた」とし、自分が身を引くことが「自民党が変わることを示す最初の一步」と述べましたが、右肩下がりの支持率を回復できずに退陣に追い込まれたにすぎません。

自民党は党ぐるみで「裏金疑惑」の真相を隠し、反省もしていません。抜け穴だらけの政治資金規正法「改正」で幕引きしたつもりでも、国民の怒りは収まりません。国民にとっては、誰が自民党の総裁になるか?ではなく、どうしたら自民党政治を終わらせられるか?が関心事です。来る総選挙で、自民党政治にさよならしましょう。



kyodo-center.jp